

カンブリア宮殿や書籍を見て日吉歯科のスタッフの方々の意識の高さを感じ自分はなんのために歯科衛生士として患者さんと関わっているのかと言う事も

考えることができました。

「予防歯科」と書かれている歯科医院は多くありますが、真の患者さんの利益になる予防歯科に取り組んでいる歯科医院はまだ多くなく患者さん自身が気づいていない知らないというところがほとんどだと思います。私は生涯一生ご自身の歯を使って頂きたいという気持ちを患者さんに強要させてしまうような説明をしていましたが、患者さんとう蝕治療の経験等を聞きだし互いに歯の価値観というもの共用できるようになりたいと思いました。

今年から歯科衛生士として患者さんの前に立たせて頂いてます。知識面、技術面においてまだまだ未熟な部分が多いです。特に口腔内写真の撮影は3分以内に行うという点や規画性という面でもっともっと意識し行わなければなど改めて思いました。また口腔内写真だけではなく様々なことに妥協せずこれからも患者さんとともにスタッフ全員で同じ目標の基頑張っって取り組んでいこうと思いました。

歯科衛生士 村上明菜